コカニーサーモンとしても知られるヒメマスは、十和田湖の珍味です。ヒメマスはベニザケの一種ですが、陸封種なので海に帰ることはありません。北海道阿寒湖を原産とするヒメマスですが、1895年に道内の支笏湖に移入され、1905年にはこの例に倣った和井内貞行（1858年～1922年）によって、繁殖用のヒメマスが支笏湖から運び出されました。今日に至るまで、秋になると卵の採取が行われ、春には地元のヒメマスふ化場でふ化した稚魚の放流が行われています。